

## 「ほたるを守る会」

ほたるを守る会は、平成6年に発足し、ホタルの知識を深めてもらおうと町内の小学校で授業を行ったり、ホタルの繁殖を助けるために、草を刈らないようお願いする啓発看板を設置するなど、ホタルを通じて一人ひとりが自然への理解を深めてもらう活動を行っています。また、パトロールを行い、ホタルの活動やホタルのえさであるカワニナの生息状況など、実態を把握し、ホタルの数がえるような取り組みを行い、ホタルの住みやすい環境を守り続けています。

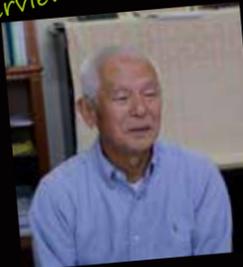


看板を設置する様子



ホタル出前授業

interview



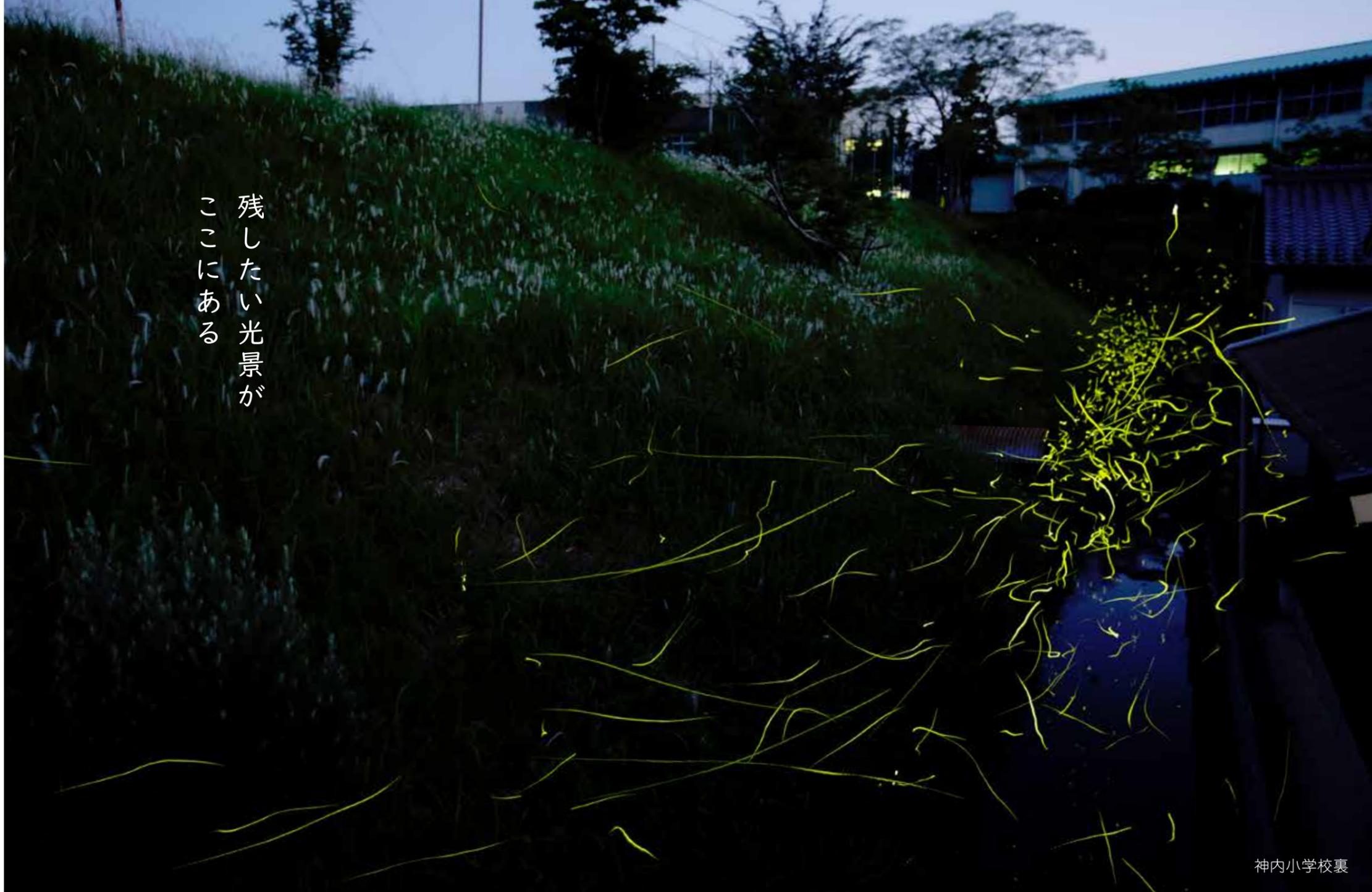
ほたるを守る会  
会長 蔵本 一範さん

「ホタルを通じて  
環境に興味を持ってもらえれば」

紀伊半島大水害後、ホタルはいなくなっ  
てはいませんが、増えてこない状況です。  
見ているだけではホタルは増えないので、  
カワニナを生息地に放流するなどの活動を  
続けています。

ホタルが飛び交うすばらしい光景を後世  
に受け継ぎたいとの想いで、町内の小学校  
で出前授業などを30年近く続けており、  
子どもたちにホタルを大切にしようという  
メッセージは伝わっていると思います。また、  
ホタルをきっかけにそのほかの生き物  
や環境のことなど、いろんなことに興味を  
持ち、私たちの想いを受け継いで、すばら  
しい町を守ってほしいですね。

残したい光景が  
ここに  
ある



神内小学校裏

動に取り組みされている方々  
がいます。  
ホタルは環境のパロメ  
タとも言われており、ホ  
タルが生育する環境を維持す  
ることが、私たち人間を含  
めた生き物にとってもやさ  
しい環境を維持することに  
つながります。  
ホタルの鑑賞を通じ、人間  
と自然とのつながりについて  
考えてみませんか。

今回の特集では、町内でホ  
タルを見ることが出来る場所  
の紹介や鑑賞する際の注意  
などを紹介します。  
また、町内にはホタルの  
飛び交う光景を後世に受け  
継いでいきたいという想い  
から、夜間のパトロールや  
次世代を担う子どもたちへ  
の啓発活動などホタルの生  
育環境を維持するための活

初

夏の訪れを告げるよ  
うに、夜の川べりで光  
を灯しながら飛び交うホタル  
は、昔から人びとの心をとら  
えてきました。

一般的にホタルのシーズン  
と云えば6月をイメージされ  
るかもしれませんが、町では  
5月中旬から各地でホタルが  
飛び始めます。



ゲンジホタル

井田地区



井田川

井田川沿いの道路付近のホタルスポットでは、ゲンジボタルが飛んでいる姿を目にすることができます。5月中旬ごろから6月中旬ごろまでが見ごろです。



神内地区



神内神社

神内神社の境内には、ヒメボタルが生息しており、6月ごろ神秘的な光景を楽しむことができます。また、神内小学校付近では、5月中旬ごろからゲンジボタルを見ることができます。



平尾井地区



町道井内阪松原線付近

平尾井地区のホタルスポットには、ゲンジボタルとヘイケボタルの両方が飛び交っています。周りに住宅などが少なく、ホタルの光だけが暗闇の中に浮かびあがります。



井内地区



相野川

井内地区のホタルスポットである相野川では、ゲンジボタルが5月中旬ごろから6月初旬に飛んでいます。ホタルのやさしい光はとても幻想的で、見る人を癒します。



ヒメボタル

前胸部の中央の黒い模様は、後方に行くほど狭くなっています。メスは体が太く短く飛ぶことができません。主に山地に生息しています。



ヘイケボタル

ゲンジボタルより体が小さく、前胸部の中央の黒い縦模様が太いことなどで区別できます。主に田んぼを中心に、みぞや浅い小川にも生息しています。



ゲンジボタル

成虫の体長は15mm前後で、前胸部の中央には黒い十字形の模様があります。清流の流れのゆるいところでのみ生息しています。



紀宝町に  
生息する  
ホタル

**町内のホタルスポットと鑑賞にあたってのマナー**

日本には、約50種類のホタルが生息していると言われ、中でも代表的なのが、ゲンジボタルとヘイケボタルです。町内にはこの2種類のほか、山の中で黄色の光を照らすヒメボタルが生息していることが確認されています。

町内では主に上記の場所でホタルを見ることができ、多く発生する条件は、①比較的曇り気味な雨の降らない夜間、②30度前後の蒸し暑い気温、③風が吹いていない、の3つがあります。また、ホタルが現れやすい時間帯は、午後8時から9時、午後11時から12時といわれています。

ホタルは求愛行動と仲間を見分けたりするために発光をしていると言われており、ライトなどにも反応してしまい、ストレスの原因となるなど繊細な生き物です。

美しく澄んだ自然を好むホタルを脅かさないためにも、また近隣に住む方々への迷惑にならないためにも、ホタルを鑑賞するときには以下の点に気を付けるようにしましょう。

ホタルを鑑賞するときのマナー

1



ライトは控える！

ホタルは強い光を嫌がるのでライトの点灯は極力しないようにしましょう

2



服装に注意！

虫刺されなどの危険もあるので、長袖、長ズボンを身に着けて、極力露出を控えましょう

3



フラッシュ禁止！

ホタルの写真撮影をするときは、フラッシュをたかずに撮影しましょう

4



大きな音はたてない！

ホタルが逃げるので、大きな声や物音は出さないようにしましょう

5



持ち帰らない！

手に取って、観察した後は、すぐに放して、持ち帰らないようにしましょう

6



棲み処を荒らさない！

ホタルの棲み処にごみを捨てたり、草むらを分け入って荒らさないようにしましょう